



防府市民のみなさんが参加されている人権学習の様子や、防府市内の小・中学校が行っている人権についての取組を広く発信することにより、より多くの方が人権について考えることのできる機会をつくり、「一人ひとりの人権が尊重された心豊かな温もりのある地域づくり」の一助としたいと考えています。人権学習の依頼・質問等ございましたら、生涯学習課人権学習室までご連絡ください。(0835-23-3016)

## 人権教育研修会（右田小学校） 8月25日（水）

### 人権教育の在り方

講師：三輪 知志 人権学習指導員

夏休みの教職員研修として、右田小学校の先生方と一緒に人権教育の在り方について考えました。「自分と違うもの・今までと違うものを許さない」「多数派の中にいると安心する」

「異質性・少数派を排除しようとする」こういった誰の心の中にも潜在的にある排除や差別の意識に目を向けることが、差別を自分のこととして考えることにつながり、豊かな人権感覚を育むための第1歩だと思います。

「噂やイメージなどから先入観をもつことがいじめや差別につながってしまうことがあるので、児童に正しい知識を伝えられるように、自分自身をアップデートしていきます。」「『みんな違ってみんないい』の考えのもと日々の教育活動を進めているつもりですが、自覚のないままで違いを排除するような言動をしていないか、子どもたちを指導すると同時に自分を振り返らないといけないと感じました。」など、先生方のアンケートからは、子どもたちへの温かい思いが伝わってきました。



## 人権研修会（社会福祉協議会） 9月2日（木）

### 心豊かで温もりのある地域づくりのために

講師：社会教育主事 上田賢一 加藤健三

社会福祉協議会で実習をされている大学生の皆さんと一緒に人権について考えました。

研修では、山口県人権推進指針、同和問題、障害者の問題、子どもの問題を取り上げました。

研修後のアンケートには、

「『その人の課題を、その人がどのように乗り越え、解決していくのか』ということを考えがちだが、『その人のために自分は何ができるのか、自分（社会）がどのように変わっていけばその人やほかのみんなにとって生きやすい社会になるのか』ということを考えることも必要だと思った。」という言葉がありました。

人権課題を「誰かのこと」ではなく、「自分のこと」として考える温かい心を皆で育てていきましょう！



## いのちの授業（小野小学校） 9月10日（金）

### いのちの授業

講師：グリーンサポートやまぐち 代表 京井 和子さん

子どもたちが命の大切さや人権尊重を学ぶ「いのちの授業」（第5次防府市総合計画に掲載の取組）が小野小学校で行われました。講師の京井さんは「つらい時にその気持ちを話

せるのは、弱いことでも、かっこわるいことでもない。強い人は自分がつらいことを伝えられる人。どんな言葉でも態度でもいいので、周囲の人、大人に話してほしい。」と伝えておられました。

話を聞いた3～6年生の子どもたちは「いのちの重みが分かりました。」「自分のいのちも守りたいし、相手のいのちも守りたい。」「生きるのは当たり前じゃない。人とつながることが大切。」などの感想を述べ、それぞれに「いのち」について考えを深めていました。

